



2016-2017
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540



2017.04.01
ガバナー月信
vol. 10

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



写真提供:竹島知憲 会員(秋田東ロータリークラブ) 花「たんぽぽ」秋田市寺町にて

CONTENTS

- 表紙 1
- 平澤ガバナー メッセージ 2
- 国際ロータリー会長 メッセージ 3
- 地区行事開催レポート 4~6
- クラブ活動紹介 7
- コーディネーターNEWS 4月号 8
- 新会員紹介、物故者情報、米山梅吉記念館便り 9
- 4月のRIレポート、文庫通信、2月会員数・出席報告 10



国際ロータリー第2540地区
ガバナー 平澤 孝夫

〒010-0001 秋田県秋田市中通2丁目6-1 秋田ビューホテル707
TEL:018-825-0288 FAX:018-825-0288 E-mail:rid2540g16-17@clock.ocn.ne.jp

ロータリー平和フェローシップの支援と推進

平和を目的に、草の根運動的な対応から国際レベルの活動まで幅広く貢献するための人材を輩出しているのがロータリー平和フェローシップです。毎年、世界中から選出された最大100人のフェローが、提携する各地の大学に設置されたロータリー平和センターで修士課程または専門終了証コースを学びます。フェローたちはそこで、紛争を引き起こす根本的な問題を多角的に研究し、現代社会のニーズに応える革新的な解決策を探るなど、実践的な知識やスキルを身につけます。卒業後は、スーダンの難民支援やインドの女性のための雇用機会創出をはじめ、各地での紛争や災害による復興支援などさまざまな活動に携わるのです。

●寄付について

私たちロータリアンにとって、このプログラムを推進していくのはもちろんのこと、寄付も重要な支援活動の一つです。このプログラムは、2002年度から世界中のDDF（地区財団活動資金）の寄贈などを中心に運用されてきました。現在は、個人の大口寄付と合わせてプログラムを恒久的に支える基金を創設しようと、今年6月まで1億5000万ドルを集めることを目標にしています。寄付した方の名称を付けることができる冠名基金という方法もあります。

●候補者を探す

フェローシップにふさわしい候補者を集めるには、ロータリー会員の協力が欠かせません。世界のより多くの地域で平和が実現されるよう、平和フェローシップの推進とフェロー候補者の推薦にぜひご協力ください。なお、フェロー候補者は、学業・職業・ボランティア活動を通じて、平和と紛争解決への専念を実証していること、優れたリーダーシップ能力を備え、高い学業成績を修めていることなどが条件となります。

●平和フェローシップの申請方法

2016-2017年度ロータリー平和フェローシップの申請受付は終了しました。2017-2018年度フェローシップの申請書は12月1日から受付開始になります。

14年目を迎えたこのプログラムも、ロータリアンの皆様の中で十分に周知されているとはいえません。日本からの応募者は、寄付額と比較しても少ないのが現状です。世界平和に大きく寄与でき、ロータリアンがポリオ撲滅活動と並び誇れるこのプログラムを、地域社会にも広報し、平和のために貢献したい方々にチャンスを与えて下さい。

以上の意味合いも含めて、去る3月21日にロータリー平和フェローで、現在日本国際ボランティアセンター・エルサレム事務所現地代表の金子由佳氏をお招きし、ロータリー財団100周年記念講演会を開催いたしました。出席いただいた大勢のロータリアンから、「感じる事が多い講演会だった」というお話をいただきました。

平和への歩みは遅々たるものかもしれませんが、ともにロータリーが育てる平和フェローに未来の夢を託してまいりましょう。



Hirasawa Takao

2016-2017年度ガバナー 平澤孝夫



世界的には、先進国でも発展途上国でも児童死亡率は低下しており、平均寿命は延びつつあります。1960年には、新生児1,000人のうち182人が5歳まで生き延びることができませんでした。今日では、この数字は43人にまで減っています。1960年生まれの子どもの平均寿命は52歳でしたが、今年生まれた子どもの平均寿命は71歳です。

当時も今も、子どもの人生を決定する主要因はこの世に誕生した時点ですでに決まっています。どこで生まれたか、家族の学歴や経済的事情はどのようなものか、医療が受けられるかどうか。とはいえ、公衆衛生における最重要な進歩が世界中の国々で見られる今、すべての子どもに行きわたらせなければなりません。つまり、予防接種のことです。

予防接種により、ジフテリアや破傷風、風疹など、かつては蔓延していた疾患が世界中の多くの地域でほぼ根絶しています。予防接種のおかげで、2000年以降、2000万人の人びとがはしかから命を救われました。天然痘は根絶しました。次はポリオの番です。

30年前には、ポリオの症例数は全世界で35万件と目されていました。『The Rotarian』の最新号が印刷にまわされた今この時点で、2016年のポリオ発症例は37件だけです。これは史上最低の記録です。安全で信頼性が高く安価なワクチンが広く使われるようになったため、この37人以外はポリオにかからずに

済み、まひを発症することも、命を落とすことも免れました。

世界保健機関（WHO）によると、予防接種は全世界で200万から300万人の命を救っていると推定されています。また、まひによる障害と経済的損失という莫大な負担も回避できます。とはいえ、私たちにはもっとできることがあるはずで、世界中のワクチン接種率をあげることで、さらに150万人の命が救えるのです。

4月24日から30日に、ロータリーはWHO、ユニセフ、米国疾病対策センターとともに世界予防接種週間の実施に参加し、ワクチンがグローバル医療に与える素晴らしい効果について人びとの意識を高める活動を行います。今年のテーマは「Vaccines Work（ワクチンは効く）」です。ワクチンには効果があるのです。予防接種率があがれば、公共保健上の幅広い影響が得られます。つまり、ウイルス性肝炎、抗生物質の必要性と抗生物質耐性菌の発生率の低下、より多くの児童や青年に重要な公衆衛生的介入を届けることなどです。健康な大人へと成長する最大の可能性をあらゆる子どもに与えるために、世界中のどの地域でも、定期的予防接種はこれまでと何ら変わらず重要です。

確かなことは何ひとつないこの世の中で、ワクチンは、「子どもたちを一生守る」というすばらしい贈り物を与えてくれます。ポリオやほかの予防可能な疾患からすべての子どもたちを守るために他機関と協力することで、ロータリーは真に「人類に奉仕」しているのです。今の世代にも、これから生まれてくる世代にも。

2016-2017年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

3月18日(土) 2016学年度ロータリー米山記念奨学生歓送会 開催報告

秋田中央RC/ロータリー米山記念奨学委員長 阿部 大助

3月18日(土)17:00より秋田ビューホテルにおいて、2016 学年度ロータリー米山記念奨学生の修了式並びに歓送会が開催されました。4名の卒業生の内1名が一時帰国のため欠席となりましたが、奨学期間修了を祝い、またこれからの活躍を期待する歓送会となりました。

平澤孝夫ガバナーのご挨拶に続き、奨学生へ修了証を授与していただきました。ロータリーへの感謝そして将来への希望に満ち溢れた素晴らしい表情で修了証を受け取っていました。またカウンセラーに対してガバナーより感謝状が贈呈されました。

引き続き、土田博美ロータリー学友委員長より学友会の案内があり、さらに第2540地区学友会会長のカビール・ムハムドゥルさん、学友のホアンティースーンさん、

孫影さんから今後のより一層のつながりの大切さを説明していただきました。

その後の歓送会では、米山記念奨学会理事の村上勘一パストガバナーの挨拶と乾杯に続き、奨学生、カウンセラー、世話クラブ会長よりこれまでの思い出や今後の抱負、期待などをスピーチしていただきました。大学関係者にも出席していただき、ロータリーに対する感謝の言葉を頂戴するとともに、今後の連携についてもお話しいただきました。

最後は「手に手つないで」の合唱、米山記念奨学会評議員の佐藤博明パストガバナーの中締めで閉会となりました。



行 瑠望さん・秋田東 RC の皆様



学友会の皆様



劉 貝易さん・象潟 RC の皆様



ゲン、ティ タンフーンさん・大曲 RC の皆様

2016 学年度 修了奨学生

- ・行 瑠望さん (国際教養大学・秋田東 RC)
- ・劉 順さん (秋田大学・本荘 RC)
- ・劉 貝易さん (秋田県立大学・象潟 RC)
- ・ゲン、ティ タンフーンさん (秋田大学・大曲 RC)

3月21日(火) ロータリー財団100周年記念講演会(合同 I M) 開催報告

秋田北RC/中区(秋田分区)ガバナー補佐 三浦 潔



3月21日(火)、秋田市の秋田ビューホテルにて、国際ロータリーが運営するロータリー財団の100周年を記念する講演会が開催され、全県から245名のロータリアンの参加をいただきました(一般聴講20名含む)。

講師として、日本国際ボランティアセンター(JVC)・エルサレム事務所現地代表の金子由佳氏をお招きし、「国際人道支援の第一線から」と題して講演をいただきました。

金子氏はロータリー財団の奨学金プログラム「ロータリー平和フェローシップ」のもとで、オーストラリアの大学院で学ばれ、国連大学、外務省勤務を経て、現在はJVCパレスチナ現地代表として、ガザ地区で子供たちの栄養改善事業

などの活動に取り組んでおられます。

当日は、パレスチナ問題の歴史、「天井のない監獄」といわれるガザ地区の現状、そこでのJVCの活動など、現地にいなければ分からない生々しいお話を伺うことができました。

最後に、金子氏からロータリークラブからの支援協力のお願ひもあり(現在は、横浜西RCと連携中)、地区国際奉仕委員会の活動や、各クラブのWF基金の活用など、今後の検討課題として考えてゆきたいと思います。(なお懇親会の席上でJVCに対する募金活動を行い33万円の募金が集まりました。)



3月25日(土) 会長エレクト研修セミナー 開催報告

能代RC 次期地区副幹事 銭谷 正

国際ロータリー第2540地区、2017-2018年度 会長エレクト研修セミナー『PETS』が、3月25日(土)午後1時から、能代プラザ都で開催されました。平澤ガバナー代理佐藤博明副ガバナーはじめ、柳谷ガバナーエレクト、8名のパストガバナー他、66名のロータリアンにご参加いただきました。柳谷ガバナーエレクトの点鐘で始まり、佐藤博明副ガバナー挨拶、柳谷ガバナーエレクトによる「次年度 RI テーマ及び地区方針について」の発表の後、大塚勝栄会員拡大増強委員長より「会員拡大・増強」について、阿部大助ロータリー米山記念奨学委員長より「ロータリー米山記念奨学事業」について、玉木修ロータリー財団委員長より「ロータリー財団の概況と地区補助金」について、それぞれ説明していただきました。その中でロータリー財団の説明では地区補助金とグローバル補助金の調達方法、申請から補助金が支払われるまでの流れ、補助金の使用条件等の説明がありました。その後、15分間の休憩をはさみ、次期地区資金について中田雅俊次期地区財務委員長より説明後、塚本真一次期地区幹事より運営に係る諸事連絡があり終了後、研修テーマの「会長の役割について」の研修が宮下正弘地区研修委員長によって行われました。

次に分区単位のグループセッションを会場移動し行われました。セッション後に各分区次期ガバナー補佐より分区ごとに内容を発表していただき、例会を月2回にしたらどうか？人頭分担金を増やすのではなく減額してほしい等様々な意見が出されておりました。次に規定審議会委員会の説明を伊藤 壽々雄パストガバナーより行われました。最後に佐藤博明副ガバナーより講評を頂き、閉会の点鐘で無事会長エレクト研修セミナーを閉会しました。

引き続き、懇親会が行われました。初めに全員で秋田県民歌の合唱のあと、次期ホストクラブの能代ロータリークラブ宮腰誠会長エレクトより歓迎のご挨拶を頂き、田口幸正パストガバナーの音頭で乾杯となり、和気あいあいと酒を酌み交わしながら、親睦を深められておりました。

最後になりますが、今回会場設定の都合上、出席者には3階、4階と幾度となくご移動をお願いすることになり、誠に申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。また進行の不手際からグループセッション後の質疑応答を省略させていただきましたこととお詫び申し上げます。次回行事からはこのようなことのないように努めたいと思います。



クラブ活動報告

3月22日(水) 大館RC 第3000回記念例会並びに祝賀会 開催報告

大館RC 広報委員長 伊藤 毅



大館 RC 第3000回記念例会並びに祝賀会が3月22日、大館市のホテルクラウンパレス秋北で、平澤孝夫ガバナー、福原淳嗣市長をはじめ、大館市内の3 RC のロータリアンら合わせて53人が参加して開かれました。

本 RC は1956年に、会員22人で産声を上げました。以来、週1回のペースで例会を積み重ね、1976年には1000回を、1996年には2000回を迎えました。1980年には75人もの会員がいましたが、

他の RC 同様に近年は会員減少に歯止めが掛からず、現在の会員は36人です。厳しい環境にはありますが、内外に新たな仲間が1人でも増えるように呼び掛けています。

祝賀会では豪壮な大館曲げわっぱ太鼓が披露され、参加者も元気ももらいました。杯を重ねるごとに、会員同士の会話も大いに盛り上がりました。3000回は通過点に過ぎません。4000回、5000回目指して活動を続けて行きたいと会員一同、決意を新たにしました。



ロータリー国際大会
2017年6月10～14日
www.riconvention.org/ja



コーディネーター NEWS

2017年4月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 今月号の担当 Zone 1 RPIC



■ クラブ数	会員数	
Zone 1	829	28,744
Zone 2	653	28,224
Zone 3	791	32,983
合計	2,273	89,951

2017年3月8日現在の Rotary Club Centralのデータによります。
 第2ゾーンの数値には GUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数
 186件(1. 2. 3ゾーン合計)



■ Rotaryって何？

この問いをロータリアン各人に質すと、おそらく100人100様でしょう。これでは、世間の方々にロータリーを理解して頂く事は出来ません。

- 先ずは、クラブでこの事を話し合ってみましょう。
- 何を説明するか？ つまり何を話題にするのか？ を考えましょう。
- 説明する言葉（文字数）は、少なければ少ない程良いでしょう。
 文字数が多くなれば、その分印象が薄くなります。

ロータリーを正しく伝える為に、先ずは「ロータリーの目的」を伝えるべきです。「ロータリーの目的」は大分解り易くなりました。四項目を要約すると

- ・知り合いを広め奉仕の機会とする。
- ・職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものとする。
- ・社会生活に於いて奉仕の理念を実行する。
- ・ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する。

上記を少し短くしてみました。[第2570地区公共イメージ委員会作成の例]
 「ロータリーって何？ 自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。」
 「ロータリーは、自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。その一環として私達のクラブは、地域で青少年育成事業の支援を行っています。」と訴えれば理解されるでしょう。

更に短く考えた川柳の例もあります。「我磨き仕事を磨くロータリー、地域や世界で奉仕活動」

さあ！あなたのクラブでも「ロータリーを短く表す」事にチャレンジしませんか。

■ 同一地域に複数クラブが存在する場合

この場合は、同一地域の複数クラブが歩調を合わせた社会奉仕を行ったら如何でしょうか？ 夫々のクラブが、協働してこそ効果が表れます。各クラブの歩調が合っていないと、（広報の面からは）夫々がマイナス効果となってしまいます。

■ 最期に一言

効果を期待するなら、直ぐに実行すべきです。議論しても実行しなければ何の効果もありません。
 上方の写真は、第2570地区で広報シートを作成して大型バスのリアウインドウに貼り付けた例です。

小池百合子東京都知事は29年2月の記者会見のある場面で「NATOにならないようにしよう」と言いました。「No Action Talk Only」では先へ進まないという事です。勿論、本来のNATO…北大西洋条約機構を否定する言葉ではありません。念の為。

(第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 鈴木秀憲)

新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

秋田中央ロータリークラブ

上野 利仁 Ueno Toshihito

職業分類/生命保険 役 職/営業所長
 勤務先/ソニー生命保険(株) 入会年月日/2017年3月3日
 紹介者/中村瑞樹



秋田中央ロータリークラブ

大嶋 健 Oshima Ken

職業分類/建物解体業 役 職/代表取締役
 勤務先/ケン開発(株) 入会年月日/2017年3月3日
 紹介者/中村瑞樹



田沢湖ロータリークラブ

鈴木 武彦 Suzuki Takehiko

勤務先/㈱匠伸住建 入会年月日/2017年1月24日
 役 職/代表取締役 紹介者/田口郁雄



物故 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



秋田東ロータリークラブ

木村 了

- 2009年7月入会
- 2017年3月26日ご逝去(享年71)

職業分類/税理士 MPHF
 2015-2016年度:会長 ベネファクター
 2016-2017年度:地区会計長 米山功労者

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典/講演会

ご案内 | 米山梅吉記念館

登録料無料 アトラクションあります。
 多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
 TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
 URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
 Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
 (前列中央・米山)((財)三井文庫提供)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
 本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。



ロータリーレート
2017年4月のレート **116円**
1ドル

ポリオ撲滅支援サイトがリニューアルされました

ロータリーのポリオ撲滅支援サイトがリニューアルされました。サイト内のページ移動が簡単となり、コンテンツとリソースが前より充実しています。ポリオ発症数などの最新情報をいつでもご覧いただけるほか、ポリオ撲滅活動について周知を図るための資料をダウンロードできます。これからポリオ撲滅募金活動等を予定されている場合は是非ご利用ください。またこのサイトからご寄付いただくことも可能です。一新されたポリオ撲滅支援サイトは、下記URLからアクセスしてください。

『Endo Polio』
URL ☞ <http://endopolio.org/ja>



文庫通信 355号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFをご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

講演他

- ◎「日本の出番、祖国は甦る」
青山繁晴 2016 1p(D.2680地区大会記録誌)
- ◎「世界の中の日本」
五百旗頭 真 2016 9p(第44回ロータリー研究会報告書)
- ◎「日本のこころ」
松長有慶 2015 7p(D.2660地区大会記録書)
- ◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」
パネラー：前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄
2016 6p(D.2580地区大会記念誌)
- ◎「21世紀をどう生きるか」
安平和彦(2016)15p(D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
- ◎「現代家族の課題」
白石大介(2016)12p(D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
- ◎「ダウン症の娘と共に生きて」
金澤泰子 2017 6p(D.2690地区大会記念誌)

■2016-2017年度 2月の会員数・出席率報告

分区	クラブ名	6月末 会員数	7月1日 会員数	2月末 会員数	女性 会員数	40歳未満 会員数	増減	例会 出席率
大館・鹿角	大館	36	36	36	1	1	0	55.72%
	花輪	18	18	19	1	0	1	86.95%
	鷹巣	13	13	13	0	0	0	84.60%
	大館北	18	19	18	3	0	-1	74.07%
	十和田秋田	26	27	27	0	1	0	87.43%
	大館南	32	32	33	1	0	1	72.16%
能代・男鹿	大館中央	18	18	18	1	0	0	88.88%
	能代	54	54	55	4	4	1	68.53%
	能代南	10	10	10	1	0	0	85.00%
	男鹿	17	18	14	3	1	-4	83.60%
	二ツ井	10	9	9	1	0	0	77.80%
	五城目	14	14	14	0	0	0	62.00%
	湯上	29	29	33	0	0	4	78.23%
	男鹿北	19	19	19	0	2	0	76.32%
	山本	19	19	20	1	1	1	88.75%
	能代白神	14	14	14	6	0	0	80.36%
秋田	秋田	85	92	90	3	0	-2	83.00%
	秋田東	75	75	73	3	3	-2	100.00%
	秋田港	36	36	38	3	0	2	87.72%
	秋田北	44	44	47	2	0	3	100.00%
	秋田南	28	28	26	1	3	-2	83.33%
	秋田中央	35	37	36	1	2	-1	84.72%
	秋田西	13	13	13	2	1	0	61.54%
本荘由利	本荘	30	31	32	1	0	1	79.63%
	矢島	11	11	11	0	0	0	75.00%
	仁賀保	9	9	9	0	0	0	100.00%
	象潟	7	7	7	0	0	0	85.00%
	本荘東	23	23	22	0	1	-1	77.00%
大曲・仙北	本荘南	9	9	9	0	0	0	100.00%
	大曲	52	52	53	4	3	1	81.72%
	角館	13	13	11	1	2	-2	81.20%
	大曲南	15	15	15	2	1	0	100.00%
	大曲中央	10	10	11	4	1	1	100.00%
	田沢湖	17	17	18	2	1	1	72.22%
	大曲仙北	16	16	16	5	0	0	92.00%
	横手・湯沢	湯沢	60	62	62	0	0	0
横手		63	63	63	4	1	0	79.10%
横手南		61	64	66	2	2	2	98.45%
西馬音内		14	15	15	1	6	0	42.22%
湯沢南		19	19	20	2	1	1	72.22%
稲川		7	7	7	2	0	0	95.20%
横手東		13	13	13	1	0	0	76.92%
合計	42RC	1,112	1,130	1,135	69	38	5	81.45%

※増減・・・2月末会員数-7月1日会員数

◎「夢に向かって」 根木慎志 2016 7p
(D.2750第36回インターアクト年次大会報告書)

◎「若者の未来のためにできること」
養老孟司 2015 11p(D.2660地区大会記録書)

◎「父が見つけてくれたもの」
小林 真 2011 6P(奉仕のともしびを高く掲げて)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
●開館：午前10時～午後5時
●休館：土・日・祝祭日